

NPO法人ありんこ公式ホームページ

arinngo.sakur
a.ne.jp

右のQRコードを読み込むと、ホームページを閲覧できます。



ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部

編集責任者 一戸 由佳

住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1

電話 0172-96-2774

Fax 0172-55-9591

医療的ケア児支援法施行をめぐる動き～あれこれ～

令和3年9月18日 医療的ケア児支援法が施行となりました。これに伴って私たち「ありんこ」の周囲でもいろいろな動きがありました。

まず、青森朝日放送のテレビ取材が「やよいのあかり」に入りました。放送は10月後半から11月の予定で、まだ未定ですが、夕方6時15分からのスーパーJチャンネルABAの特集として放送される予定です。法律が施行して、医療的ケアの必要な方たちにどのような具体的な支援が届くのか。医ケアのある子もない子も一緒に育つ私たちのような居場所に支援の手が伸びるといいなと思っています。

次に、9月15日に青森県障害者自立支援協議会医療的ケア児支援検討部会の今年度初の会議がオンラインで行われ、青森県のコンサルテーションチームの活動状況、医療的ケア児支援法施行後の県としての動きなど、報告や質疑が行われました。法律ができて、すぐには具体的な動きにならない現状を変えていけるように、どんどん発言することが私の役割だとの思いを強くしました。

そして9月25日、これもオンラインで全国医療的ケア児懇親会が開かれました。主催は国立成育医療研究センターの医療型児短期入所施設「もみじの家」の内多勝康さんです。知る人ぞ知る元NHKのアナウンサーで、現在同施設のハウスマネージャをされています。(YouTubeに内多さんの法律朗読がアップされています。)

今回全国の医療的ケア児親の会を立ち上げるために、各都道府県の関係者(当事者や支援者)に直接声をかけ、青森県には直接のつがなかったとのことで「青森県 医療的ケア」で検索して「ありんこ」に繋がったそうです(*^▽^*)

そんな偶然で繋がったご縁。本日は県内の医ケア児の親を繋げてミーティングを開催してから懇親会に臨む予定でしたが、私の動きが悪く、開催に至りませんでした。25日の段階でミーティングが開催されていないのは青森県だけという結果にとっても驚き、反省しています。今後早急に開催したいと思います。

インフルエンザワクチン接種のお知らせ ～いちのへ耳鼻科より～

早いもので、もうインフルエンザワクチン接種を考える時期になりました。いちのへ耳鼻科では、ありんこ会員とそのご家族様を対象に11月から接種することができます。接種費用は今年も会員様、ご家族様いずれも1回1600円となります。

新型コロナワクチンとの兼ね合いもありますが、お早めにご検討の上、接種を希望される場合は10月中にご連絡ください。接種希望場所、日時等を調整させていただきます。

(Tel)090-7936-8874 一戸携帯)

NPO法人ありんこ会員継続のお願い

会員の皆様にはいつも活動へのご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。10月から会員継続のお願いの文書をお送りしております。継続のお手続きをお願い致します。また、ご意見等もお寄せください。



ハートフルケアありす
コーナー

今月の活動(9月)

散歩や運動をするのにはとても良い季節になりました。利用者様は、主に、午前中はみんなで、午後は個別に近くの公園への散歩などを楽しんでいます。園内の遊具で童心にかえって遊んでみたり、記念写真を撮ったり。

コロナ禍で外出は制限されていますが、感染対策をして、広い屋外へのお出かけを楽しみたいと思います。

そして、秋は芸術も！屋内での活動もこれから増えるので、いろいろと工夫をして、ありすらしい活動を行っていきます。公園散歩で見つけた落ち葉や木の実が、素敵な作品になるかも？かもしれません。



可愛く結ったね！



笑顔が素敵な女子たち。



散歩はみんな大好き。立ち止まって撮ったり、カメラに突進したり(笑)



職員が動き出すと、自然と片付けを手伝ってくれました。ありがとうね！



職人のまなざし！